



第83回ゴールデングローブ賞にて、コールマン・ドミンゴ、 ジェニファー・ガーナー、ミラ・クニスらがブシュロンを纏って登場



© Getty Images

2026年1月11日、ロサンゼルスで開催された第83回ゴールデングローブ賞において、コールマン・ドミンゴ、ジェニファー・ガーナー、ミラ・クニス、エイミー・ポーラー、ラシダ・ジョーンズ、ゾーイ・ドゥイッチ、トラ梅ル・ティルマン、ジャスティン・ルーブ、そしてポール・W・ダウンズが、ブシュロンのクリエイションを纏い、レッドカーペットに登場しました。

メゾンのフレンドのコールマン・ドミンゴは、パリでの1月末の新作コレクションの発表に先駆け、「ヒストリー オブ スタイル 2026」ハイジュエリーコレクションのブローチを大胆に纏い、唯一無二の存在感を放ちました。さらに、ホワイトゴールドにブラックPVDを施した「キャトル ブラック」リングや、ダイヤモンドをあしらった「キャトル ラディアン ト」イヤークリップを合わせ、タイムレスなエレガンスを体現しました。



© Getty Images

ジェニファー・ガーナーは、3カラットのペアシェイプダイヤモンドを配した「シェブロン」ペンダントイヤリング、5.01カラットのダイヤモンドとパールを組み合わせた「グット」リング、そしてブルーサファイアが煌めく「ブリュム ドゥ パオン」リングを着用し、洗練された輝きを放ちました。



© Getty Images

ミラ・クニスは、イエローゴールドにダイヤモンドをあしらった「セルパンボエム」のイヤリングをはじめ、同コレクションのリングを重ね、メゾンのアイコニックなコレクションにモダンな解釈を添えました。



© Getty Images

エイミー・ポーラーは、「セルパンボエム」のネックレスをはじめ、同コレクションのブレスレット、スタッディヤリング、リングをコーディネート。メゾンならではの自由なスピリットを表現しています。



© Getty Images

ラシダ・ジョーンズは「ヴァンドーム リズレ」のイヤリングとリングを中心に、ブラックラッカーとダイヤモンドのコントラストが際立つ華やかなスタイルを披露しました。



© Getty Images

ゾーイ・ドゥイッチは、ペアシェイプダイヤモンドを配した「ヴァンドーム リズレ」のペンダントイヤリングと、同コレクションのウォッチを着用。ホワイトゴールドにブラックラッカーを施し、ダイヤモンドを贅沢にあしらったタイムピースが、彼女の洗練されたスタイルに力強いアクセントを加えました。



© Getty Images

その他、トラメル・ティルマン、ジャステイン・ルーペ、ポール・W・ダウンズも、それぞれの個性を引き立てるブシュロンのアイコニックなクリエイションを纏い、メゾンの独創性とサヴォワール フェールが際立ち、ハリウッドの夜に華やぎを添えました。

1858年にフレデリック・ブシュロンが創業し、一族によって4世代にわたり自由な精神とスタイルが継承されてきたブシュロン。パリ・ヴァンドーム広場にブティックを開いた最初のハイジュエラーとして、ブシュロンは一流のハイジュエリーと高級時計を象徴するメゾンとしての地位を確立してきました。自由で大胆な精神を持つブシュロンの唯一無二のスタイルは、世代を超えて受け継がれ、160年以上の歴史を誇ります。現在、ブシュロンは世界各国で90以上のブティックを展開し、国際的なラグジュアリーグループであるケリングに属しています。